

## <コロナ克服キャンペーン>

### 2/22 奈良ホテルにて「感染を防ぐための模擬立食パーティー」を開催 ～コロナ禍での「パーティーの理想形」を追求～

これまで奈良医大とMBTコンソーシアムは連携して、コロナ対策相談を、企業様をはじめ学校、自治体、商店街、社寺等のビッグイベントなどを対象に社会貢献活動として進めて参りました。

2月22日、この活動の一環として、奈良ホテル様の協力を得て、常々パーティーを行っている有名ホテル様、またパーティーに参加する機会が多い立場の方々、観光や旅行関係業者様、奈良市の社寺仏閣や商店街様など、総勢約60名の皆様にお集まりいただき、「大和の間」で新型コロナウイルス感染を防ぐための模擬立食パーティーを開催しました。



本パーティーは**2部構成**で実施しました。

**第1部**は、3感染ルート（①接触、②飛沫、③エアロゾル）遮断を基調とした28種類ものコロナ感染対策を随所に配して会場づくりを行い、参加者に実際にそのコロナ感染対策を体験実感してもらう模擬立食パーティーとしました。

冒頭に細井裕司理事長から開会挨拶において本パーティーの開催趣旨を説明され、続いて参加者を代表して春日大社の藤岡信宏総務部長様が乾杯の音頭をとりパーティーの食事と懇談が始まりました。

本パーティーは食事参加の30名のゲストで模擬実証を予定していましたが、この試みを知った業界関係者から参加希望が相次ぎましたのでオブザーバーとして参加を御願いました。そのオブザーバーの皆様にも食事の始まりと共に会場内に入りゲストと一緒にコロナ感染対策を確認や体験をしていただきました。そして、第1部の締め、奈良ホテルの福田順副総支配人様から他のホテルなど関係の皆様と本パーティーでコロナ感染対策を考える機会が持てたことのお礼が述べられました。

**第2部**では、細井理事長の司会進行の下、第1部で実施の28種類のコロナ感染対策を1点ずつ確認し、その有効性や課題を参加者全員で議論する検討会を行いました。

本パーティーはwithコロナ時代において日常を取り戻す新しい試みとしてメディアの関心も高く、NHK、読売TVなどテレビ報道3社、また、朝日、毎日、読売新聞などの新聞関係者や観光雑誌社など6社が取材に入り、この催しを社会に発信していただきました。

#### 開会挨拶

細井裕司

奈良医大  
理事長



#### 乾杯音頭

藤岡信宏  
春日大社  
総務部長



#### 締め挨拶

福田順  
奈良ホテル  
副総支配人



# 感染を防ぐための模擬立食パーティー ～コロナ禍での「パーティーの理想形」の追求～

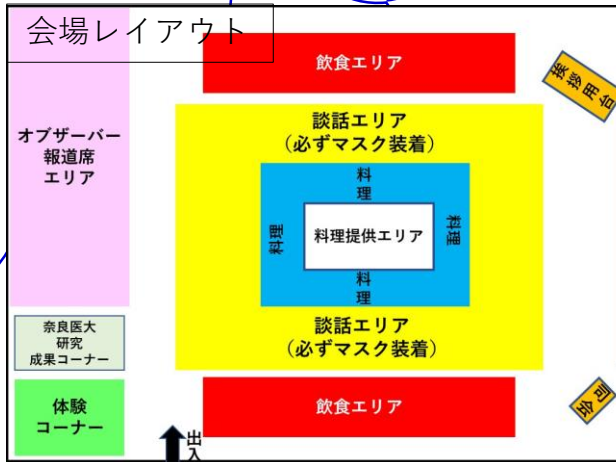
## <第1部>

### 会場感染リスク低減の試み

- ①アルコールジェル消毒液
- ②CO2計測、③低濃度オゾンガス 他



**体験コーナー**  
オゾン水による手指洗浄と清浄度を測るATP検査



**奈良医大・MBTコンソーシアム 研究成果コーナー**  
オゾンガス、柿渋等のコロナ不活性化成果と柿渋配合の試供品を展示

### 食事提供の仕方

- ①ローストビーフの切り出しサービス
- ②蓋つき器の個々盛り③缶ビールは名札付き



### 食事時の飛沫対策 (2)

- ①ミラー&②ハーフミラー 越しの食事方法の提案



### 食事時の飛沫対策 (1)

- 丸テーブルの個々の席を高さ可変アクリル板で遮蔽  
食事時の対話は手マスク使用

## <第2部>



参加者全員による28コロナ感染対策の効果の確認、改善策議論



細井裕司理事長が第2部の進行をリード



コロナ感染対策説明や質問に答える  
(左) 笠原敬感染症センター長  
(右) 伊藤利洋免疫学講座教授